

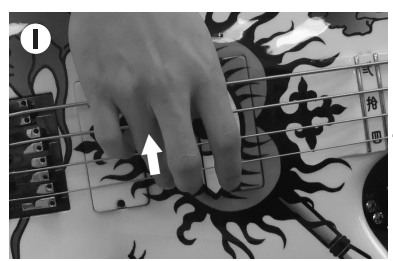
注意点1



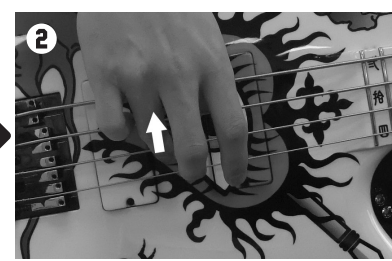
右手

**強めにピッキングして
音量を揃えよう!**

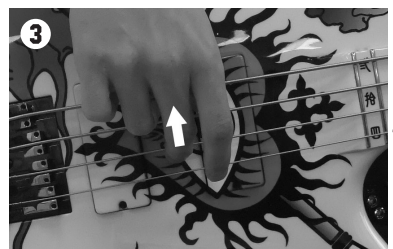
ここでは、3フィンガー・レイキングの3パターン目となる薬指レイキングを練習しよう。メイン・フレーズは、1拍内の4音を1弦(薬指)→2弦(薬指)→2弦(中指)→2弦(人差指)の順で弾くが(写真①~④)、最初の薬指のレイキングに注意してほしい。薬指は、3フィンガーで使用する指の中で最も力が弱いため、音量も小さくなりやすい。したがって、ほかの指よりも強めにピッキングするように心掛けることが大切だ。また、メイン・フレーズは、使用ポジションが1弦11フレット~14フレットになるため、それぞれのフレットに左手の各指を割り当てておく【註】と、フィンガリングもスムーズになるだろう。



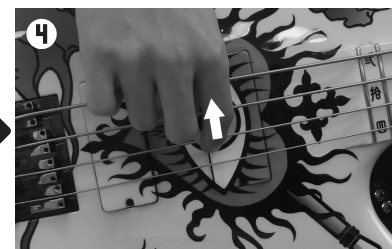
① 3フィンガーでの薬指レイキング。薬指から始まり……



② そのまま2弦も薬指でピッキングする。



③ 続いて、2弦を中指で弾いて……



④ 人差指のピッキングに繋げよう。

注意点2



右手

**3フィンガーの肝となる
薬指の集中鍛錬法**

3フィンガーを攻略するポイントは、第3の指“薬指”をどれだけの確に操れるようになるかということだ。ここでは、薬指の集中鍛錬法となる“薬指縛り2フィンガー・エクササイズ”を紹介しよう(図1)。これは、今まで2フィンガーで弾いていたフレーズを人差指&薬指、または中指&薬指で弾くというものだ(人差指&薬指と中指&薬指の両方を練習するのが理想的)。このトレーニングをくり返すことで、薬指にも人差指と中指に負けないパワーがつくだろう。“親父の小言は、あとで効く”、いや“地味な基礎練習は、あとで効く”ので、このエクササイズで薬指をしっかり鍛え上げてほしい。

図1 薬指の集中鍛錬法

人 中 人 中 人 中 人 中 人 中 人 中 人 中



人 薬 人 薬 人 薬 人 薬 人 薬 人 薬 人 薬
中 薬 中 薬 中 薬 中 薬 中 薬 中 薬 中 薬



2フィンガー・フレーズをあえて、“人差指&薬指/中指&薬指”という指順で弾いて、薬指を鍛えよう。

~コラム16~

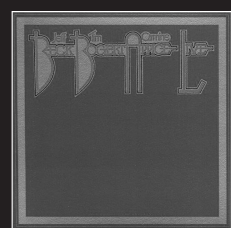
将軍の戯れ言

ここでは、レイキングが効果的に使われている作品を紹介しよう。まずは、1972年に発表されたカーリー・サイモンの『ノー・シークレッツ』に収録されている「うつつな愛」。この曲は全米チャート1位を記録した名曲だが、イントロがベースのレイキング・フレーズから始まるという、現代ではありえない作品だ。もう1曲はライブ・アルバム『ベック・ボガート&アピス・ライブ・イン・ジャパン』に収録されている「君に首ったけ」。ビリー・シーンの師匠とも言えるティム・ボガートによるワイルドなレイキングは、必聴だ!

**著者・MASAKI、かく語りき
レイキング名曲編**



カーリー・サイモン
『ノー・シークレッツ』
アメリカの女性シンガー・ソングライターの出世作。「うつつな愛」には、ミック・ジャガーがバック・ボカルとして参加している。



ベック・ボガート&アピス
『ベック・ボガート&アピス・ライブ・イン・ジャパン』
1973年の大阪公演を取めたライブ盤。エネルギーかつスリリングなプレイが満載だ。

【それぞれのフレットに左手の各指を割り当てておく】 クロマティック系フレーズに限らず、“1フレットに1指”の法則を守ること、無駄な動きを減らすことができる。このことは、ぜひ頭と左手に入れておこう。